

濱田建設が補助金セミナー

BELS認証ZEH見学会

—敦賀—

濱田建設(本社・敦賀市本町2丁目8番地の3)はこのほど、敦賀市萌生野地係の現地で「BELS(建築物省エネルギー

性能表示制度)認証ZEH」の完成見学会を開いた。写真。

ハマダモデル「パッシブZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」として建設。国土交通省の16年度地域型住宅グリーン化事業に採択され、ゼロ・エネルギー住宅の適用(補助金165万円)



を受けた「ほくろく在来」の会」のグループ一員として濱田建設が参画した。地元の工務店等が建材流通の関連事業者らと連携体制(グループ)を

構築し、地産地消と省エネルギー化に向けて技術力向上を図る画期的な取り組みとして注目を集めそうだ。今回は、ZEH補助金受領に関するセミナーも開かれた。

セミナーでは、浜田肇一専務が「電源立地地域として、できるだけ生活の中で省エネルギー化を広めていきたい」とあいさつ。また、「ほくろく在来」の会」事務局を務める小森商事の榎本俊樹住

宅資材部課長は、17年度地域型住宅グリーン化事業のポイントを解説したほか、メンテナンス対応が早く、地域の風土を熟知した地元の工務店等が家を建てるのが地域経済活性化につながるというドバイスした。

同市萌生野地係に完成した建物は、BELSの最高ランクとなる5つ星を取得。削減率(エネルギー消費量)は61%の高水準となっている。